

あったかいが いいね

山はみどり 谷もみどり
森も原も畑も
鳥はうたう 虫もうたう
風も木々も流れも
わたしたちも こころの限り
つくり主を たたえよう
ほめたたえよ み神を



あったかいがいいね

「あったかいがいいね」この言葉はアドベンチスト福祉会のモットー（心がけている目標や行動の指針）です。地域の皆様に「あったかいがいいね」と感じていただけることを職員全員で目指しています。

最近、スマートフォンなどの通信機器の発達や新型コロナウイルスの出現により、世の中はだいぶ変化しているように感じています。仕事や私生活でもLINEやメールでやり取りする機会は以前よりも多くなっていますが、書面や電話の声だけでは情報がきちんと伝わらないと感じることが多々あります。やはり、直接会って話をすると相手の表情やしぐさ、雰囲気などが言葉で伝わらない情報が数多くあり、お互いに理解しあうためには、直接会うことがとても大切であると実感しています。

シャローム横浜は令和元年の年末より新型コロナウイルスの影響で、特養の生活の場にはご家族が入れない期間が続きましたが、今年度よりようやく

シャローム横浜施設長
高原 信夫

子どもたちと一緒に讃美歌を歌い共に祈ること。そうすることで生まれる穏やかで居心地の良い雰囲気は福祉現場の宝と言って過言ではありませぬ。

今年度は、その活動の一部を写真も併せてご紹介しますが、皆さまにはキリスト教福祉が実践される現場の雰囲気を感じていただけたら幸いです。

福祉は人。人に始まり人に終わる。この言葉は私が尊敬する先達の教えでもあります。つまり、人を大切にすること、特に「弱さ」を抱えて苦しむ人に対して誠実であることが福祉実践の最も基本になくなくてはならないと考えています。

そして、誰よりもこの「人」に特に弱さの中で苦しむ人々の最も近くに寄り添い、手を差し伸べ大切にされたのがイエス・キリストでした。聖書の中には、このイエス・キリストの感動的な働きの詳細がたくさん書かれています。私はそのことの故に、アドベンチスト福祉会の福祉に向かう姿勢の原点に、このイエス・キリストを置きたいと思っています。

今年の「あったかいがいいね」を通して、皆様にアドベンチスト福祉会の真心をお届けすることが出来れば幸いです。

3・4階フロアでの直接面会が実現しました。面会は予約制ですが、日数を増やすなどの地道な取り組みを行っています。また、2023年5月に新型コロナウイルスが5類になったこと、現場の介護職員からご家族や地域の方との関わりを再開したいとの意見が出ていたこと、ご家族や地域の皆様を招待したイベントであるシャロームデイや家族会などを、2024年度によりよく実現することができました。多くの皆様にご協力いただいたことで、ご利用者やご家族、職員も共に笑顔あふれる機会となりましたことに感謝申し上げます。

2024年9月15日の統計では、日本の総人口が減少する中で、65歳以上人口は3625万人と、総人口に占める割合は29.3%と過去最高を更新しています。2025年には国民の4人に1人が75歳以上の高齢者となり、高齢者の5人に1人が認知症になるといわれているのです。

そのような厳しい状況の中、シャローム横浜では、今後も地域の中の施設として、「あったかいがいいね」と感じていただけるように、皆様のニーズに誠実に答えていくことを積み重ねていくことで、地域住民から頼られる存在となりますよう、努力してまいりたいと思います。

事業報告

(2023年4月1日から2024年3月31日)

事業活動計算書 資金収支計算書 貸借対照表

サービス活動増減の部			
収益	サービス活動収益計	①	1,341,088,052
費用	サービス活動費用計	②	1,345,738,052
	サービス活動増減差額	③=①-②	-4,650,000

サービス活動外増減の部			
収益	サービス活動外収益計	④	16,455,755
費用	サービス活動外費用計	⑤	8,671,360
	サービス活動外増減差額	⑥=④-⑤	7,784,415
	経常増減差額	⑦=③+⑥	3,134,415

特別増減の部			
収益	特別収益計	⑧	41,328,000
費用	特別費用計	⑨	41,945,223
	特別増減差額	⑩=⑧-⑨	-617,223
	当期活動増減差額	⑪=⑦+⑩	2,517,192

繰越活動増減差額の部			
	前期末繰越活動増減差額	⑫	83,074,148
	当期末繰越活動増減差額	⑬=⑫+⑪	85,591,340
	基本金取崩額	⑭	0
	その他の積立金取崩額	⑮	0
	その他の積立金積立額	⑯	0
	次期繰越活動増減差額	⑰=⑬+⑭+⑮+⑯	85,591,340

事業活動による収支			
収入	事業活動収入計	①	1,357,543,827
支出	事業活動支出計	②	1,319,789,796
	事業活動資金収支差額	③=①-②	37,754,031

施設整備等による収支			
収入	施設整備等収入計	④	78,328,000
支出	施設整備等支出計	⑤	55,699,489
	施設整備等資金収支差額	⑥=④-⑤	22,628,511

その他の活動による収支			
収入	その他の活動収入計	⑦	23,404,406
支出	その他の活動支出計	⑧	58,760,447
	その他の活動資金収支差額	⑨=⑦-⑧	-35,356,041
	予備費支出	⑩	0
	当期資金収支差額合計	⑪=③+⑥+⑨+⑩	25,026,501
	前期末支払資金残高	⑫	264,263,020
	当期末支払資金残高	⑬=⑫+⑪	289,289,521

入居者数 (2024年12月1日現在)			
シャローム横浜			
	男	女	計
人数	21	88	109
平均年齢	84.1	87.4	86.8
シャローム桜山			
	男	女	計
人数	13	35	48
平均年齢	82.5	86.0	84.2

福祉の原点にキリスト

理事長
村本 英邦

毎年、「あったかいがいいね」を発行するこの時期は、一年間の振り返りを行う時期でもあります。アドベンチスト福祉会は横浜と沖縄に9つの施設を持ち、合計で18の事業を行っています。これらの働きがどのようなものであったかをこの「あったかいがいいね」を通してご紹介致します。

今回はアドベンチスト福祉会の法人理念である「いのちをうやまいいのちを愛しいのちに仕える」の根拠となつていく聖書の思想を実践していく上での欠かすことのできないチャプレン（施設付牧師）の役割について特集を組んでみました。

現在、アドベンチスト福祉会では、長年カナダの日本人教会で牧師をしてこられた、上至至牧師（カナダでの職名）がチャプレンを代行しております。このチャプレンの取り組みを見て、私はキリスト教福祉実践の意味と役割の重要性を実感しています。各施設を回ってご入居者の話を聞き、

子どもたちと一緒に讃美歌を歌い共に祈ること。そうすることで生まれる穏やかで居心地の良い雰囲気は福祉現場の宝と言って過言ではありませぬ。

今年度は、その活動の一部を写真も併せてご紹介しますが、皆さまにはキリスト教福祉が実践される現場の雰囲気を感じていただけたら幸いです。

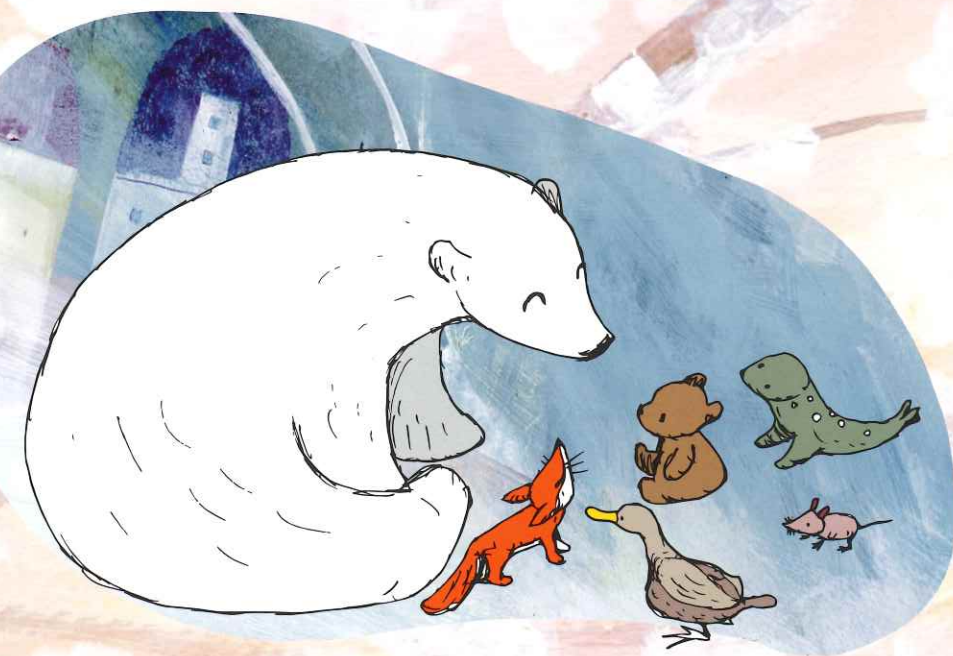
福祉は人。人に始まり人に終わる。この言葉は私が尊敬する先達の教えでもあります。つまり、人を大切にすること、特に「弱さ」を抱えて苦しむ人に対して誠実であることが福祉実践の最も基本になくなくてはならないと考えています。

そして、誰よりもこの「人」に特に弱さの中で苦しむ人々の最も近くに寄り添い、手を差し伸べ大切にされたのがイエス・キリストでした。聖書の中には、このイエス・キリストの感動的な働きの詳細がたくさん書かれています。私はそのことの故に、アドベンチスト福祉会の福祉に向かう姿勢の原点に、このイエス・キリストを置きたいと思っています。

今年の「あったかいがいいね」を通して、皆様にアドベンチスト福祉会の真心をお届けすることが出来れば幸いです。

見捨てない

人は物ではない、数でもない
かけがいのないいのちである
あったかいがいいねとは
誰ひとりとして見捨てない
どんなときにも共にいる
そういう覚悟をあらわした言葉です



職員数		特養ケアハウス	(内パートナール75名)	153名
		ひかりが丘地域ケアプラザ	(内パートナール24名)	41名
		四季の森小学校放課後キッズクラブ	(内パートナール13名)	13名
		シャロームミルトスの木(上白根)	(内パートナール11名)	19名
		シャロームミルトスの木(下白根)	(内パートナール11名)	20名
		シャロームミルトスの木(峰本町)	(内パートナール11名)	34名
		シャローム三育保育園	(内パートナール14名)	34名
		ベテルの夢	(内パートナール4名)	9名
		ベテルの夢Ⅱ	(内パートナール4名)	8名
		合計	(内パートナール156名)	297名
職員の資格保有者		社会福祉施設長		3名
		社会福祉士		9名
		社会福祉主事		14名
		介護福祉士		86名
		主任介護支援専門員		3名
		介護支援専門員		26名
		ヘルパー1級		3名
		ヘルパー2級		57名
		精神保健福祉士		2名
		嘱託医		2名
		看護師		19名
		保健師		1名
		理学療法士		2名
		作業療法士		1名
		柔道整復師		2名
		管理栄養士		4名
		栄養士		10名
		調理師		14名
		保育士		34名

自ら出向き、心の平安を運ぶ

チャプレン

チャプレンとは施設付きの牧師のことです。福祉関連の中でチャプレンを置いている福祉事業施設は余り多くはなく、むしろ珍しいと言ってもいいでしょう。



教会で働く牧師

教会以外の施設で働く牧師

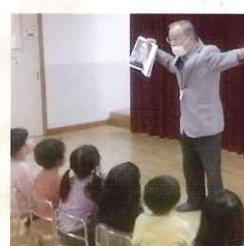
チャプレン



アドベントチスト福祉会の理念は「いのちを敬い、いのちを愛し、いのちに仕える」です。

四半世紀の間、それを体現するために福祉会のスタッフひとりひとりが自分の時間を通して、人に役に立つよう活動してまいりました。

そのスタッフやご利用者、その全ての方の人生が高められるようにチャプレンがいます。チャプレンの働きは聖書を原点に、すべての福祉施設を対象としています。そこには高齢であることや障害を抱えていること、また子どもでもあることは関係ありません。福祉のニーズを持つすべての人のいのちが精神的な支援を必要としているからです。



アドベントチスト福祉会・チャプレン 兼 副施設長 上前 至



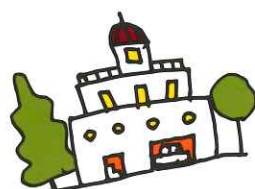
チャプレンの働きの一部をご紹介します



朝礼
月～金曜日
8時45分～9時

土日以外は15分間の職員朝礼の時間を持っています。職員が施設内のチャペルで讃美歌を歌い、祈りの時間をもちます。時間は短いです。仕事を始める前に、皆が同じ場所、神様の前に顔をたれて今日一日の祝福と守り、導きを祈って始めます。法人の理念を実践していく大きな力となっています。

シャローム横浜・桜山



施設内礼拝(安息日礼拝)
土曜日
9時45分～10時45分
ご利用者で希望される方に施設内礼拝(安息日)を行っています。ケアハウス、特養3階(特別介護棟)、特養4階(一般介護棟)に分けて、月一回、毎回10名程参加されます。コロナ禍でも工夫して安

息日礼拝を続けられたことは感謝です。皆様も心が平安になりますと喜ばれています。礼拝の説教者は施設外からお招きすることもあります。参加者から「ああ、参加できて良かった。穏やかな気持ちになりました」と言っている言葉を聞くと、私も何とも言えない幸せを感じます。

医務室などの祈り

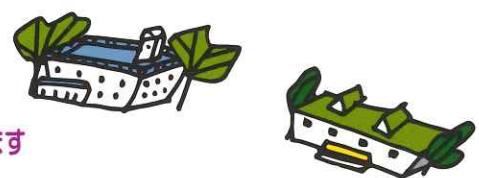
業務の関係で朝の職員朝礼に参加できない部門には、直接その部門に出向いて関わる時間を持っています。たとえば、特養の医務室では毎週水曜日に、全員で祈る時間を持っています。聖書の神様に謙虚な姿勢で祈ること、入居者の健康管理に関わる看護師の心は安らぎ、責任ある働きを全うすることが出来ると思います。

一日15分の祈りが心を静めます。そうすることで神の声を聞くことができるのです。



その他の事業所では

日時を決めて定期的に各事業所を訪問しています



シャローム
三育保育園
月一回、15分程度

聖書のお話を聞く時の子供達のキラキラ輝く瞳や素直な心とその姿勢に、大人である私の方がチャプレンとしてあるべき姿を教えられます。最後に祝福のお祈りをしますが、40名程の子供達が一緒に「アーメン」と唱和してくれる時ほど嬉しい気持ちになることはありません。

グループホーム
ミルトスの木
ミルトスの木 鶴ヶ峰本町
第二第四月曜日、午後2時～15分程度

どちらのホームもいつも笑顔で私の到着を待っていて下さるので、訪問はとても楽しみです。

ご利用者の多くはクリスチャンではないのですが、聖書の話しや祈りを嫌がられる方はお一人もおられません。讃美歌を初めて歌う方が喜んで歌って下さる様子はとても嬉しい

ものです。讃美歌を書いた用紙が欲しいと言われる方も多く、お渡しして帰ることも度々あります。

穏やかな時間を共に過ごすことが出来るのもとても幸せなことです。



ひかりが丘
地域ケアプラザ
毎第二金曜日、15分程度

シャローム横浜から車で20分ほどにケアプラザがあります。働いている職員は地域福祉のスペシャリストです。毎回約10名前後の職員が参加してくれます。地域福祉の現場で起こる様々な出来事に対して、聖書の中から教訓となる箇所を選んで話すように心がけています。

朝礼が終わった後、職員の仕事や近況を共有する時間もあるので、私自身にとっても有益な学びの時間となっています。

障がい児通所支援
ベートルの夢
ベートルの夢II
一年に一度 約一週間

1年に一度、約1週間の時間を取って訪問しています。滞在中、私は多くの感動を受けます。この働きこそ、アドベント福祉会の本質を表し、同時にこの働きを決してなくしてはならないことを感じて帰ってきます。

子供にとっての「逃れの場所」「居場所」になっている2つの「ベートルの夢」の働きが、キリストの愛を実現していると確信するのです。さらに、職員が仕事の前に自発的に聖書を読み、祈りの時間を持っていることを聞く時、私が日常的に関われないがゆえに、職員は真に頼るべき方がとなたのかを体験しているように思います。

神様の導きと豊かな祝福が、この事業とここを利用する子どもたち、そのご家族の上に豊かに注がれますように、切に祈るものです。





障がい児通所支援 ベートルの夢

ベートルファームの柔らかい土に植えられた種はやがて芽を出し天に向かい伸びています。その姿はまるでベートルの夢の子どものたちのようにカラフルで豊かな心に似ています。

動物介在教育(馬・犬や畑、自然や地域との関わりの中で大きく成長した子どもたち。日々、希望と感謝を持って活動しています。

「つまらない」などの言葉は出てきません。子どもたちは家でも「次いつベートルに行く?」と聞いたりしています。

何人かが表現してくれた「楽しい」という言葉には、「充実感」のようなニュアンスが含まれているように感じます。ベートルIIには心惹かれるような最新のゲーム機器や玩具などは置いていません。知育ゲーム等には、使用時間には制限を設けています。

「楽しい」
「にぎやか」
「他の学校の子とも友達になれる場所」
「あった出来事を話せる」
「悩みが解決する」
「新しい体験ができる」



それでも子供たちから自然と「楽しい」という言葉が出てきます。少し物足りない環境で楽しむためには工夫が必要。ダンボールや割り箸などで工作したり、独自の遊びを考えたり、外では枯れ木を積み上げて不思議なオブジェを作ってみたりと、あらゆる場面で子供たちの感心させられるような工夫が見られます。

最新のゲームや玩具は想像力や工夫を育ててはくれません。何もない環境で工夫すると「こころしてみよう」という発想がどんどん溢れて来ます。そんな工夫から得られる楽しさに子供たちは他では得難い充実感を味わっています。そしてこの環境こそ実は子どもの豊かな創造力を最もよく育み、あらゆる可能性を引き出す手立てになっていると私たちは信じています。



障がい児通所支援 ベートルの夢II

「あー楽しかった」と満足そうな顔を浮かべる子供たちの表情を何よりも大切にしながら、ベートルIIがこれから子供たちにとって「楽しい」場所であり続けることを祈りながら祈り続けていきます。



四季の森小学校 放課後キッズクラブ



放課後キッズクラブは、すべての子どもたちを対象にして、小学校施設を活用し、「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所を提供することを目的とした事業です。

「いろいろな活動場面において子どもたちの自主性を大切にし、社会性が養われていくことを願って運営を行います。」



「今日も生きている」
新しい一日を
神様に感謝して
さあ、今日も遊ぼう

晴れた日の朝
園庭のフスソキの
向こう側から
太陽が昇ります
木漏れ日が きらきら
あたたかい



シャローム三育保育園



ケアハウス便り



みなさんの
心配事も
一緒に
考えたいと
思います



ケアハウス・シャローム桜山
生活相談員 遠藤裕之

シャローム桜山は、シャローム横浜に併設された自立型のケアハウスです。入居定員50名で、1人部屋38室、2人部屋は6室あります。サービスは基本的にお食事と入浴です。入居者はそれぞれの居室で自由な時間を過ごされます。中にはお仕事が続いている方もおられます。

コロナ禍で集まる機会が少なくなっていました。最近では勉強会やレクリエーションも少しずつ再開し始め、全体に明るい雰囲気に戻ってきました。

自立型ケアハウスの課題の一つは、介助や介護が必要になった時、どのような選択肢があるのかと不安になることです。このことは入居中の皆様が一緒に持っておられるお気持ちです。



シャローム桜山

アドベンチスト福祉会が運営する2つの高齢者グループホームはとも恵まれた環境に立地しています。

シャローム ミルトスの木(上白根)は「ふるさと尾根道緑道」という遊歩道のすぐ傍にあり、ご利用者は自動車の通らない安全な小径を散歩する事ができます。道の両脇には美しい花壇や並木があり、四季折々の彩を見せてくれます。

「ふるさと尾根道緑道」の入り口シャローム ミルトスの木鶴ヶ峰本町は児童公園に隣接しています。公園に面した場所にホーム自慢のテラスがあり、天気の良い日はイスを並べてご利用者がお茶や日光浴を楽しみます。また、児童公園でゲートボールを楽しむ方や、毎日のように遊びに来る保育園の園児との楽しい交流の場となっています。



シャロームミルトスの木(上白根)・ミルトスの木鶴ヶ峰本町

グループホーム便り



2つのグループホームは自然がいっぱいの場所に
あります



第26号 あったかいがいいね

2025年3月1日

特別養護老人ホーム シャローム横浜
施設長 高原 信夫
Tel.045-922-7333 Fax.045-922-7334

デイサービスセンター シャローム横浜
Tel.045-922-7337 Fax.045-922-7338

食事サービス
Tel.045-922-7339 Fax.045-922-7336

横浜市高齢者用市営住宅等生活援助員派遣事業

四季の森小学校 放課後キッズクラブ
Tel.045-951-7564

ケアハウス シャローム桜山
ハウス長 村本 英邦
Tel.045-922-7330 Fax.045-922-9648

横浜市 ひかりが丘 地域ケアプラザ
所長 滝沢 泰彦

・通所介護部門・居宅介護支援事業
・地域包括支援センター・地域交流事業
・生活支援体制整備事業
Tel.045-953-6890 Fax.045-958-1140

高齢者グループホーム
シャロームミルトスの木(上白根)
ホーム長 渡部 紀久
Tel.045-954-5960 Fax.045-954-5961

高齢者グループホーム
シャロームミルトスの木鶴ヶ峰本町
ホーム長 渡部 紀久
Tel.045-958-0221 Fax.045-958-0220

保育事業
シャローム三育保育園 園長 村上 涉
Tel.045-390-3193 Fax.045-390-3192

沖縄 障がい児通所支援 ベーテルの夢
責任者 坂元 十七重
Tel.098-988-0680 Fax.098-988-3736

沖縄 障がい児通所支援 ベーテルの夢Ⅱ
責任者 福地 泉
Tel.098-917-4181 Fax.098-917-4182

メールアドレス
シャローム横浜: shalom-yokohama@adventist-welfare.jp
シャローム桜山: sakurayama@adventist-welfare.jp
ひかりが丘CP: hikarigaoka-careplaza@adventist-welfare.jp
シャローム三育保育園: s-san-iku@adventist-welfare.jp
ベーテルの夢: bethel@adventist-welfare.jp
ベーテルの夢Ⅱ: bethel2@adventist-welfare.jp

ホームページ
アドベンチスト福祉会 <http://www.adventist-welfare.jp/>



編集 坂本 晋一
イラスト 長嶋 洋一
制作 ティム有限会社